

科目名	電子回路 1							年度	2025	
英語科目名	Electronic Circuits 1							学期	前期	
学科・学年	電子・電気科 電気工事コース 1年次	必／選	必	時間数	60	単位数	4	種別※	講義	
担当教員	小林 和幸	教員の実務経験		無	実務経験の職種					
【科目の目的】										
ダイオードやトランジスタなど主要な半導体のシンボル、静特性、使用方法が理解できる。電子回路の回路図を見て、動作の概要を考えることができる。正常に動作している回路と、故障している回路の動作の違いを区別する力を身につけることを目的とする。										
【科目の概要】										
アンプなど電子機器の原理や動作について学びます。										
【到達目標】										
A. 半導体について基礎的な知識を理解している B. 半導体のシンボルについて理解し、正しく描くことが出来る C. 半導体の静特性について正しい知識を持っている D. 半導体の使用方法について正しい知識を持っている E. 電子回路の回路図を見て、動作の概要を考えることが出来る										
【授業の注意点】										
授業中の私語や受講態度などには厳しく対応する。理由のない遅刻や欠席は認めない。授業に出席するだけでなく、社会への移行を前提とした受講マナーで授業に参加することを求める（詳しくは、最初の授業で説明）。ただし、授業時数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。尚、オンライン授業であっても同じ条件となる。										
評価基準＝ルーブリック										
ルーブリック 評価	レベル5 優れている	レベル4 よい	レベル3 ふつう	レベル2 あと少し	レベル1 要努力					
到達目標 A	半導体の基礎知識を正しく理解している	半導体の基礎知識を持っている	半導体の基礎知識は重要だと理解している	半導体の基礎知識は重要ではないと考えている	半導体の知識は必要ないと考えている					
到達目標 B	半導体のシンボルについて理解し、正しく描くことが出来る	半導体のシンボルについて理解し描くことが出来る	半導体のシンボルについて理解している	半導体のシンボルについて理解していない	半導体のシンボルについて理解しようとならない					
到達目標 C	半導体の静特性について正しく理解している	半導体の静特性について理解している	半導体の静特性が重要だと理解している	半導体の静特性が重要ではないと考えている	半導体の静特性について学ぶ必要がないと考えている					
到達目標 D	半導体の使用方法について正しい知識を持っている	半導体の使用方法について知識を持っている	半導体の使用方法を理解している	半導体の使用方法を理解していない	半導体の使用方法について学ぶ必要がないと考えている					
到達目標 E	電子回路の回路図を見て、動作の概要を考えることが出来る	電子回路の回路図を見て大体の動作がわかる	電子回路の回路図を見て動作を考えることが出来る	電子回路の回路図を見て動作を理解できない	電子回路の回路図を見る必要がないと考えている					
【教科書】										
工事担任者 科目別テキスト わかる全資格〔基礎〕（リックテレコム）										
【参考資料】										
【成績の評価方法・評価基準】										
試験：70％試験を総合的に評価する。小テスト：15％授業内容の理解度を確認するために実施する。平常点：15％積極的な授業参加度、授業態度によって評価する。										
※種別は講義、実習、演習のいずれかを記入。										

